

こどもと女性のための相談室

光華＊こころの手帳

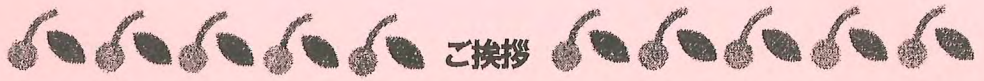
第14号



京都光華女子大学

カウンセリングセンター

平成25年5月発行



ご挨拶

新緑の葉が映える季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。当カウンセリングセンターは、開設10年目を迎え、おかげさまで、こころの手帳も第14号を発行することができました。次第に暖かい日が増えてきたので、さわやかな風を感じながら木陰でのんびり休憩されるのもいいかもしれませんね。

気持ちも環境も新たに様々なことを始めるのに丁度良い時期になりました。しかし、新しい環境で、知らず知らずに悩みをため込んでしまっておられませんか。気になることや、困りごとがございましたら、お話に来られてみてはいかがでしょうか。少しでも心が軽くなるようにお手伝いできればと思っております。



「新学年が始まる4月に思うこと」

石谷みつる(本学准教授・臨床心理士)

4月。新年度は桜の満開の道を歩いて職場へ、学校へと向かう季節です。春は3月までの自分に別れを告げ、新しい出会いと新しい自分の始まりの年であります。子ども達もクラス替えがあったり卒業・入学があったりして、とても変化の大きい時期です。この時期は不都合があった事柄について修正を加えるのにはとても良い時期と言えるでしょう。しかし大人が良かれと思って力を尽くしたことが、子どもにはすぐに受け入れられず適応するまでに時間がかかることもあることでしょう。

ある小学校では例年ならクラス替えは2年に1回、つまり入学してから最初の1年生の時に決定されるクラス、3年生、5年生に進級する年のクラス替えと、計3つのクラス編成を経験することになっていました。ところが子ども達には詳しい説明ができない何らかの事情により、突然新6年生だけが例外的にクラス替えをすることが伝えられました。それも5年生の3月という年度末ギリギリの時期になってからです。当然ながら子ども達の動揺は大きく、泣き出す子も大勢いました。

5~6年生の時期は友達とのつながりが自身の存在意義を形作るために非常に重要な意味をもつ時期です。仲の良い子ども同士のグループがあちこちにでき、子どもにとっては、そのグループあってこそ自分があると言っても過言ではないほどの重みがあるのです。「〇〇ちゃんと仲のいいのが私」という感じでしょうか。仲よしグループに入れなくて悩む子どもが増えるのもこのぐらいの年頃です。

このように考えると、先にあげた突然クラス替えをした学校においては、6年生の子ども達へのその後の関わり方は、普段以上に配慮を要するものになると考えられます。もちろん小学校の先生方の方でも、相当な御苦勞をされながら日々教育にあたっておられることは容易に推察されます。とにかく5年生から卒業までの2年間、同じメンバーで毎日の学校生活において、また修学旅行という大きなイベントなどの様々な取組においても、友達との絆を大切にしていこうと準備をしていたのです。それが突然新しいクラスのメンバーとの絆を形成するところから始めるのは大変なことでしょう。

保護者の方々も大変な思いをされているかと思います。学校では、要求されていることをやらなければと一生懸命になっている真面目な子どもほど、その精神的な緊張がゆるむ家の中ではその疲れがドッと出やすいものです。訳もわからず不機嫌になったり、病気や怪我が多くなったりし、保護者もそのケアに追われるということが多くなる可能性があります。

しかし言葉や身体で不満を表現する子ども達も、持ち前の子どもならではの適応力を発揮しようとする心の深いところでは本当によく頑張っています。気付いたら「このクラスでよかった」と卒業の時期を迎えていることでしょう。他方で、いつまでたってもうまく新しい状況になじめない子どもも存在しています。そういう子どもに対しては、やはり身近な大人がまずその子の「しんどさ」を敏感に察知し、その子に必要な配慮をしてあげなければなりません。まず親が気付くことが重要なのです。

桜は散りますが次はツツジが美しく咲いてきました。嬉しいことも悲しいことも同時にたくさんあるのが4月なのです。



大学院研究生コラム



昔の人は、星空を眺めてどんなことを想っていたのでしょうか。日本や中国では星に七夕の物語を見だし、願いを込めます。西洋では星座に神話が重ねられました。星には国や文化や時代を超えて、イメージを湧き起こさせる力があるようです。

私は初めてプラネタリウムに行ったとき、何かワクワクするようなゾクゾクするような不思議な気持ちになったことを、今でもよく憶えています。神話の物語をきいてその登場人物のイラストが星座に重ねられた瞬間、巨大な神様に見守られるような、見下ろされているような、安心感と畏怖の念を同時に抱く強烈な体験をしたのです。神話や空想の世界は現実とはかけ離れた別世界のように思っていましたが、その二つの世界が繋がったように感じました。星座は神話の世界と現実の世界を繋げる架け橋のようなもので、星空は世界中の誰もが触れられるファンタジーの世界への入り口になっているのかもしれない。(C)

京都光華女子大学カウンセリングセンター

当センターでは、さまざまなこころの不安・悩み、心理・発達の問題について、
ご相談に応じます。なお、ご相談の内容について秘密は固く守られます。

申し込み方法 *必ず事前にお電話にてお申し込みください。(完全予約制)

電話番号 : 075-325-5281

受付時間 : 月～土 (祝祭日除く) 午前10時～午後5時

開室時間 : 月～金 : 午前10時～午後7時 / 土 : 午前10時～午後5時 (祝祭日除く)

料金 : (初回) 3,000円

(2回目以降) 個人面接2,000円 / 親子並行面接3,000円

面接時間 : 1回50分

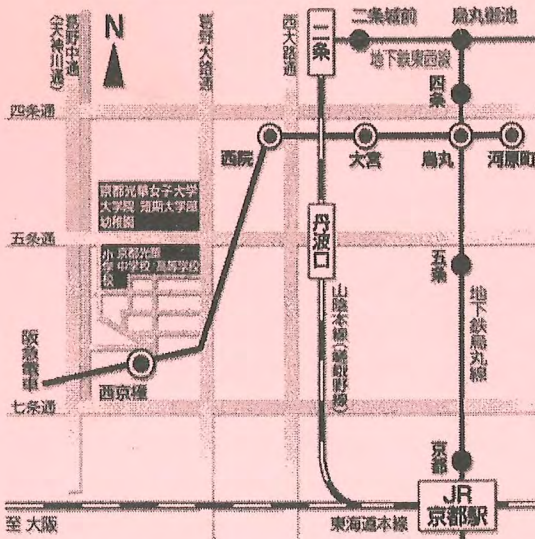
面接担当者 : 大学院生 (臨床心理コース)、研究生 (本大学院修了生)

専任カウンセラー、本学教員

*その他、詳細はお電話にてお問い合わせいただくか、下記HPをご覧ください。

URL : <http://www.koka.ac.jp/facilities/counseling.html>

地図・交通機関ご案内



阪急京都線

「西京極駅」下車 徒歩7分

JR

京都駅からバス約25分

「光華女子学園前」下車 徒歩1分

京都バス・81・83系統

市バス・27・32・73・80・84系統

センター受付事務室

五条通 北側

京都光華女子大学内

慈光館地下1階

光華*こころの手帳 編者 徳田仁子 (小柳・島田・高階・田中・濱口・藤原・松並・吉益)

—第14号— 発行者 カウンセリングセンター長 長田 陽一

発行所 京都光華女子大学カウンセリングセンター

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38